

みんなの力で介護予防を



11月17日、介護予防フォーラムが文化会館で開催されました。講演では、ルーテル学院大学の市川一宏学長が登壇。市川さんは、さまざまな事例を紹介しながら、介護予防に対する地域の関わり的重要性を説明しました。

読書まつりで優秀な読書感想文・画を表彰



11月17日、読書まつりが開催され、読書感想文・感想画コンクールの表彰式が行われました。児童生徒60人を優秀な作品として表彰し、永久津小6年の本村吉君と永久津中3年の神之蘭成香さんが感想文を代表で朗読しました。

地域防災の充実へ6分団6部車両更新



12月1日、消防団車両交付式が須木地区にある大年神社で行われました。厳かに神事が執り行われた後、第6分団第6部の平野祐樹部長に車両を交付。車両の活用による地域防災の充実が期待されます。



同様のコンクールで受賞経験があるなど標語を得意とする岡原さん。趣味は読書で「将来は図書館で働きたい」と話してくれました

地域安全を訴える標語で
岡原茜さん(永久津中)が最優秀賞

永久津中1年の岡原茜さんが、平成24年全国地域安全運動の標語の部で最優秀賞を受賞しました。岡原さんの作品は「かぎ閉めた？ 出かける前の 合い言葉」。受賞に岡原さんは「いろいろな角度から考えて思いついた作品。とても嬉しかった」と喜びを語ってくれました。



市観光協会は、同マイスターが案内する周遊コースを作成しており、1月から運行を開始する予定です

タクシー運転手が小林の魅力を伝える観光マイスターに

11月17日、市観光協会は市内のタクシー運転手を対象に、市の観光や文化について知識を深めてもらう講習会を開催しました。講習会には、市内のタクシー会社3社から14人が参加。受講者は「市観光マイスター」に認定され、観光客に小林市の魅力を発信していきます。



① 駅南公園② 小林駅ロータリーで開催されたこばやし冬まつり③ 6日にわたり開催された野尻町イルミネーションスタンプラリー④ 点灯式では野尻庁舎で花火の打ち上げも⑤ 約2kmにわたり電飾された野尻の国道268号沿い⑦ ライトアップされた休校中の須木鳥田町小学校体育館⑧ 鳥田町小学校の体育館であった点灯式では、元鳥田町小の生徒らがイチョウ太鼓などを披露。鹿、猪汁が参加者の心と体を温めました



11月23日のこばやし冬まつりを皮切りに、市内各地で美しいイルミネーションが冬の街を彩っています。宮崎牛日本一や吉都線100周年を祝うメッセージボードなども設置。各地区で工夫を凝らした光のオブジェが見る人を魅了していました。

小林駅前ロータリー・駅南公園、野尻町区国道268号沿い、須木・鳥田町小学校、須木体育館
小林市内で開催されている幻想的な光の世界を紹介

冬の小林を彩る
イルミネーション

場所・点灯時間・期間
◆小林(小林駅前ロータリー) 18時~22時、(駅南公園) 18時~21時、1月11日まで
◆野尻(野尻町区国道268号沿い野尻町商店街) 17時30分~22時、1月5日まで
◆須木(鳥田町小学校) 18時~21時、1月15日まで
◆須木(須木体育館) 18時~21時、1月12日まで

年末年始の事故や犯罪を防ぐ



12月3日、年末年始の特別警戒取締隊「ひなもり隊」の発隊式が小林警察署でありました。同署や民間団体、行政など約100人が参加。大野俊朗署長は「地域の安全を守るため、一体となって取り組んでほしい」と訓示しました。

ファミサポ会員が交流を深める



12月9日、ファミリー・サポート・センター事業の会員間の交流会がありました。会員とその子ども44人が参加。フルート演奏や日本赤十字社による「乳幼児の安全について」の実技講習会があり、会員間の交流を深めていました。

市内の史跡などをバスで巡る



12月12日、文化財探訪バスツアーがありました。市ガイドボランティア協会の主催で、市民など約40人が参加。鬼目薬師堂など、小林に深い歴史を誇る史跡5カ所を巡り、参加者は歴史に思いを馳せていました。

小林市独自の支援体制を構築
認知症支援ネットワーク会

11月27日、市認知症支援ネットワーク会の第1回会議が開催されました。これは、認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人に合ったサービスを提供できる体制の構築を目指すもの。今後、医療や介護施設、行政などで連携し、取り組む予定です。



会議には、関係機関から22人が出席し、話し合われました



12月12日には市長を表敬訪問し、受賞を報告。過去1年間の農林水産大臣賞受賞者476点の中から選ばれ、受賞しました

県内初。木佐貫薫さんが日本
農林漁業振興会会長賞を受賞

11月23日、東京都明治神宮会館で行われた農林水産祭で、苗木生産者の木佐貫薫さんが日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。独自開発の灌水システム、作業機械の導入など作業効率向上の実績が評価。木佐貫さんは「祖父の代からの創意工夫が認められうれしい」と喜びを語りました。



ホットケーキとクリームを使って火山の仕組みを分かりやすく説明する研究者の皆さんに、興味津々で見入る子どもたち

実験を通して理解を深める
火山の音実験教室

12月8日、「火山学者と火山を作ろう！火山の音実験教室」が中央公民館で開催されました。日本火山学会の主催で、西諸県地区の児童生徒、保護者や一般の市民など約70人が参加。参加者は、火山の音当てクイズや、実際に音を作る実験を体験し、楽しく火山についての知識を深めていました。

3年間の集大成を披露
西高調理科3年生が成果発表

12月5日、小林西高調理科3年生の学習成果発表会と試食会が同校体育館でありました。生徒を代表して大久保里美さんが「3年間の集大成を心ゆくまで楽しんでください」とあいさつ。会場には和洋中46作品が並び、各テーブルで保護者などに説明をしながら料理を振る舞っていました。



閉会式であいさつした谷川誠さんは「今後、調理、接客や介護、それぞれの道で頑張っていきたい」と話していました



東方小1年1組であった国語の授業で、専用のペンを使い電子黒板に表示された教科書に担任が書き込む様子

学習への意欲向上に期待
ICTを活用した授業を公開

11月21日、東方小・中学校で電子黒板や実物投影機などの情報通信技術（ICT）を活用した教育の研究発表会がありました。市教育委員会では、児童生徒の授業への興味・関心を高め学力向上につなげようと導入。平成26年度には市内全ての小中学校に配備する予定です。



大トリを飾った小林秀峰高校新体操部。来年の全国大会での活躍が期待できる演技に観客は魅了されました

全国レベルの華麗な技と演技
新体操演技会を開催

11月23日、市民体育館で新体操演技会が開催されました。小学生から一般までの個人と団体が市内外から14団体が出場し、華麗な演技で観客を魅了。出場選手は、息のあった団体演技のほかスティックやリング、ボールを使った演技を見せ、観客からは大きな拍手が送られていました。